



〇 お

この題だけでは何のことやら分かりませんね。先日、私の妻がお寺の行事の関係で、ある講話を受けてきました。色々な話題の中に「今、お米の値段などのことが話題になっていますが、ほとんどのマスコミが“コメ”と言っていますね。日本人にとって米は“おこめ”ですよね。」というようなものがあったそうです。私が直接お話を聞いたわけではないので、この話の紹介についてはこれで終わりです。次に思ったことは「お」をつけることばについてです。

電車通勤をしている私は毎日同じアナウンスを聞いています。その中の一つ「この列車は全席禁煙となっております。おたばこはお吸いいただけません。」と言うものがありました。「たばこ」と「吸う」に「お」が付いています。他にも違うパターンのアナウンスが数種類ありますが、正直なところ毎日だと飽きてしまいます。せめて1年ごとくらいにリニューアルしてほしいなと心の中で思っています。

善し悪しを判断するつもりはありません。「お」が付いたことばに関心が向いたので探してみました。アルコールをたしなむ場でつかわれることばに「おビール」というものがあります。通常はつかわないですね。特別感が少々ありますが、「お酒」はどういった場面でもつかわれているように思います。前述の「お米」も同じような感覚ではないかと私には思えます。

ちょっと茶化したような言い方に「調子者」というものがあります。「調子者」と「お調子者」を比べてみると、つかう人の気持ちが微妙に違うように私には思えます。

YC 校では調理師科の学生たちが調理する役目とおもてなしの役目に分かれて大量調理実習を行います。秋には外部の方を対象にしますが、今は学生と教職員が“お客様”です。これまでの「おしながき」をいくつか次に紹介してみます。



ここまでこのたよりでつかった「お」のつくことばは次のとおりです。「お寺」「お米」「お話し」「おたばこ」「お吸い」「おビール」「お酒」「お調子者」「おもてなし」「お客様」「おしながき」

最後に、学校で毎日のように使っている“もの”に「お」を付けてみました。こうしてみると違和感のあるものとなないものに分かりますね。日本語って不思議ですね。

「お机」「お椅子」「お教科書」「おノート」「おまな板」「お包丁」「お箸」「おスプーン」「お椀」・・・

〇 自校自賛

21日に行ったYC校のオープンキャンパスではパエリアとスペイン風オムレツを作りました。手伝ってくれた学生は調理師科2年コースのTさんとHさんです。今回の似顔絵はTさんです。

写真のモビールは梅雨時期の水滴をモチーフにして作ってみました。

